

《令和3年度 教育委員会事務局 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長	南川 等
理事	作田 まさ代

主 令和3年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載し

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1 <いじめの根絶に向けての取組み、対応> 大きな社会問題となっているいじめ問題については、そのいじめの根絶に向け、学校の組織力を高め、家庭、地域、関係機関との連携を強化し、子どもの自己肯定感を高め、豊かな感性や人間性を育む取組を進めていく必要があります。 また、不登校をはじめとする学校不適応行動には、学校、家庭、地域社会など子どもを取り巻く環境が影響していることが少なくありません。子どもたちの課題の解消を図るためには、本人への働きかけとともに、取り巻く環境の調整・改善に取り組む必要があります。</p>	<p>① いじめに対する職員の危機意識の向上や未然防止の取組、早期発見、早期の組織対応等を総合的かつ効果的に推進するとともに、家庭や地域、関係機関との密接な連携のもと、いじめの根絶に向けた取組を進めます。 ・学校不適応行動については、教育や社会福祉の専門的知識・技術を有する人材を学校に派遣し、児童生徒をとりまく様々な環境に働きかけて支援を行い、個々の課題の解決を図ります。</p>	<p>① 【取組】 ・道徳教育、いじめの予防学習の充実等により、いじめを許さない集団作りに努めるとともに、教員研修の実施などにより、教員の対応力を強化します。 ・いじめの認知件数が増える6月と9月に「いじめ防止強化月間」を設定し、各学校での取組を強めるとともに、家庭や地域、関係機関との連携を図ります。 ・学校不適応の児童生徒の課題解決を図るために、教育と社会福祉の分野における専門的な知識・技術を有するスクールソーシャルワーカー(SSW)を派遣します。 (事業費) SSW配置費 1,638千円</p> <p>【成果目標】 いじめの認知件数に対する解決率 100%(令和2年度 100%見込み) 不登校児童生徒の人数 小学校10%減 中学校5%減(前年比)(令和2年度 小学校4.2%増、中学校18.8%増)</p>	<p>【取組実績】 ・いじめを許さない集団作りに努め、教員研修の実施など、教員の対応力を強化しました。また、「草津市いじめ防止啓発リーフレット」を作成し、いじめに対する早期発見、早期対応、ていねいな見守りについて、保護者や地域に発信しました。 ・6月と9月を「いじめ防止啓発強化月間」とし、各学校での取組を強めるとともに家庭や地域、関係機関との連携を図りました。 ① ・スクールソーシャルワーカー(SSW)を派遣し、各学校にて児童生徒や保護者との懇談やケース会議での助言等、具体的な対応についての指導・支援を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 ・いじめの認知件数に対する解決率 100%見込み ・不登校児童生徒の人数 小学校2.9%増 中学校53.3%増(前年度比)</p>
<p>2 <健やかな体づくりの推進> ・令和元年度の児童の新体力テストの結果は上昇傾向にありますが、児童生徒がより一層運動に関心をもち、目標である全国平均点を上回るためには、今後も継続して体力向上に取り組む必要があります。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、新体力テストは中止) ・中学校の生徒の体力テストの結果は、全国平均点を上回っていますが、部活動など本格的にスポーツを行う機会が増え、けがが増加するため、スポーツ傷害予防に取り組む必要があります。</p>	<p>② ・立命館大学との協働研究を行いながら、児童生徒が運動する機会や環境の充実のための効果的な取組を行うとともに、短時間運動プログラム(草津市チャレンジタイム)の推進や体育教科の授業改善、スポーツ傷害予防講座等の実施により児童生徒の体力向上に取り組めます。 ・小中学校体力向上プロジェクト第3期計画(令和3年度～令和5年度)をスタートし、引き続き体力向上に取り組むとともに、「運動が好き、体育の授業が楽しい」につながる授業改善に向けて、第3期の計画の推進に取り組めます。</p>	<p>② 【取組】 大学と連携しながら、小中学校で、体力向上プロジェクトに取り組む、「運動をすることが好き、体育の授業が楽しい」につながる授業改善を進めるとともに、効果の高い短時間運動プログラムの実施を通じて、子どもたちの体力向上に取り組めます。また、「運動をすることが好き、体育の授業が楽しい」と思う子どもの割合が上がることを目指して取り組んでいきます。 (事業費) ・小学校体力向上プロジェクト事業 525千円 ・中学校体力向上プロジェクト事業 330千円</p> <p>【成果目標】 ・新体力テストの成績(小学5年生) 男女とも全国平均点を上回ること。 ・運動をすることが好きな子どもの割合(小学5年生) 男女とも全国平均割合を上回ること。 (令和2年度は、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が未実施のため、国の数値なし)</p>	<p>【取組実績】 体力向上のための取組として、小学校では短時間運動プログラム「草津チャレンジタイム」の実施や楽しみながら運動ができるダンス教室を実施しました。中学校ではスポーツ傷害を予防するためのスポーツ傷害予防講習会を実施しました。 (事業費) ② 小学校体力向上プロジェクト推進費 452千円 中学校体力向上プロジェクト推進費 327千円</p> <p>【成果目標】 ・新体力テストの成績(小学5年生)の平均点 草津市(男子52.1、女子53.2) 全国(男子52.5、女子54.6) ・運動をすることが好きな子どもの割合(小学5年生) 草津市(男子68.3、女子49.0) 全国(男子67.9、女子53.1)</p>
<p>3 <健やかな体の育成> 全国的に中学校給食の実施が進んでいることや、本市における中学校給食を望む保護者の声、市議会での請願の採択などといった社会情勢の変化等を踏まえ、さらなる教育環境の向上と食育の推進を図ることを目的として、平成29年2月に策定した中学校給食実施基本計画に基づき、センター方式による中学校給食を実施する必要があります。</p>	<p>③ 令和3年度3学期から中学校給食を実施するための取組を推進します。</p>	<p>③ 【取組】 ・給食センター建設工事の完了に向け引き続き工事を進めます。 ・中学校配膳室増築工事(草津中、新堂中)の完了に向け引き続き工事を進めます。 ・令和3年度3学期から中学校給食を開始します。 (事業費) 中学校給食センター整備費 1,167,666千円 中学校給食材料購入費 56,184千円 中学校給食センター管理運営費 60,710千円</p> <p>【成果目標】 ・中学校給食の開始</p>	<p>主 【取組実績】 ・令和3年7月新堂中配膳室増築工事を完了しました。 ・令和3年8月草津中配膳室増築工事を完了しました。 ・令和3年10月第二中学校給食センターを竣工しました。 <令和3年度> (事業費)1,226,671千円 ・中学校給食センター整備費(1,130,470千円) ・中学校給食材料購入費(45,613千円) ③ ・中学校給食センター管理運営費(50,588千円) <令和2年度予算明許繰越> (事業費)742,252千円 ・(仮称)草津市第二中学校給食センター工事(514,930千円) ・新堂中学校配膳室増築工事(102,659千円) ・草津中学校配膳室増築工事(124,663千円)</p> <p>【成果目標実績】 令和4年1月11日中学校給食を開始しました。</p>
<p>4 <学校ICT教育の推進> Society5.0時代を生きる子どもたちにとって、教育におけるICTを基盤として先端技術等の主体的な活用が求められています。そのため、「GIGAスクール構想」で整備された1人1台の端末を、自分でいつどのように使うかを考え活用する力を身につけることで、新学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの実現を進めていきます。さらに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により、全ての子どもたちに学びを保障できるように、教員のスキルアップを図る必要があります。</p>	<p>④ NEW草津型アクティブ・ラーニングでは、「1人1台端末」を活用することで、個別最適化された学びを進め、アナログとデジタルを融合させたハイブリッドな学習により、主体的・対話的な授業となるよう改善を図り、学力の向上を目指します。</p>	<p>④ 【取組】 ・1人1台配備された端末の効果的な活用について研修・研究を進め、質の高い授業実践に取り組むことで、児童生徒の主体的・対話的で深い学びに向かう力を高めます。 ・国の「学習者用デジタル教科書実証事業」に参加した市立小学校12校、中学校4校が、より効果的な活用方法について授業研究が進められるよう支援します。 ・草津市教育情報化推進計画(第2期)を改定し、本市学校教育における「教育の情報化」の基本的な考え方や方向性を明確にします。</p> <p>【成果目標】 児童生徒アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」肯定的回答 90%以上(令和2年度:92.3%)</p>	<p>主 【取組実績】 ・1人1台配備された端末の効果的な活用に向けて、新採教員や市外からの異動教員、ICTを活用した授業に自信のない教員を対象に夏季研修会を実施しました。また、各校の情報化リーダー対象研修会等で実践事例の共有・発信を進め、New草津型アクティブ・ラーニングの授業研究を行い、市内20校で共有しました。 ・市立小学校12校、中学校4校が、国の「学習者用デジタル教科書実証事業」に参加し、年度当初から担当者対象の研修会を実施し、より効果的な活用を目指した授業研究の支援し、研究内容をまとめ各校で共有しました。 ・国の「学校教育情報化推進計画」が未策定ですが、草津市教育情報化推進懇談会での議論を経て、「草津市学校教育情報化推進計画(第2期)」を改定しました。</p> <p>【成果目標実績】 児童生徒アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい」肯定的回答 91.5%</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>5 <基礎学力向上のための取組の充実> 新学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びの実現とともに、児童生徒が基礎的・基本的な知識を身に付けることができるようになるためには、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図る必要があります。</p>	<p>⑤ ・教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、児童生徒の学ぶ力向上を目指します。 ・中学校入学後の生徒一人ひとりの学習上のつまずきを把握し、克服する支援を行うことにより、生徒の学びのサイクルの確立を目指します。</p>	<p>⑤ 【取組】 ・学校における「指導と評価の一体化をめざした授業づくりを進めるために、学力向上マネジメント会議(年3回)や令和の四改革セミナーを行います。 ・中学2年生を対象とした共通テストの実施と、テスト後の補充プリントによる学習支援を行います。 (事業費) ・子どものつまずき発見・克服事業 委託料 2,064千円</p> <p>【成果目標】 ・「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と肯定的に回答した児童生徒 小80%以上 中70%以上(令和2年度 小78.0% 中71.1%) ・補充プリントの提出率 90%以上(令和2年度 国語90.3% 数学89.2%)</p>	<p>⑤ 【取組実績】 ・学力向上マネジメント会議(年4回)や講師を招聘して令和の四改革セミナーを行い、「指導と評価の一体化をめざした授業づくりを進めました。 ・中学2年生を対象に共通テストと事前事後補充プリントを作成し実施しました。結果の個票をもとに個別教育相談をし、つまずきを克服するための学習支援を行いました。 (事業費) ・子どものつまずき発見・克服事業 委託料 2,058千円</p> <p>【成果目標実績】 ・「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」と肯定的に回答した児童生徒 小80.6%、中82.2% ・補充プリントの提出率 国語 92.5%、数学 93.5%</p>
<p>6 <学びの基礎となる読みの力の定着> 市内小学校において、1年生の段階で、学習の基本となるひらがなの読み書きにつまずいている児童が一定数います。1年生時のつまずきは、高学年段階での学習困難の大きな要因となっていることから、低学年の早い段階から効果的な指導・支援を行う必要があります。 また、文章を素早く正確に読む力は「読解力」の向上につながり、効果的な「読み」の指導を早期から継続的に行うことが、学力向上につながります。 これらのことから、読みにつまずく児童を、1年生のうちに早期発見し、具体的かつ効果的な支援を即時行う必要があります。</p>	<p>⑥ ・年間を通して定期的なアセスメントを行い、学習につまずく児童を早期発見するとともに、科学的根拠のあるアセスメント結果に基づく、効果的な指導・支援を行います。 ・1年生の国語科の授業において、科学的根拠のある「読み」の指導を継続的に行い、学力の基盤となる読みの力の向上を図ります。 ・取組の実践、成果を広く公開・発信し、保護者・教職員等の理解・協力を得るとともに、次年度以降の事業拡大を目指します。</p>	<p>⑥ 【取組】 1年生学級の国語科の授業において、児童の読みの力を分析・把握し、タブレットPCを活用し、一人一人の課題に応じ、多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を年間を通して行います。 (事業費) 小1学びの基礎育成事業 520千円</p> <p>【成果目標】 1年生の指導終了時に読みにつまずく児童の割合8%以下 (令和2年度 15.4%)</p>	<p>⑥ 【取組実績】 実践校8校にて、小学1年生の国語科の授業において、タブレットPCを活用しながら、児童の読みの力を分析・把握し、一人一人の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を年間を通じて行いました。</p> <p>【成果目標実績】 1年生の指導終了時に読みにつまずく児童の割合 22.7% ※アセスメント結果のうち、3rdステージ対象児童の割合</p>
<p>7 <英語教育の推進> 令和2年度(中学校は令和3年度)から適用されている新学習指導要領に基づき、全面実施となる英語教育は、令和2年3月に策定した「草津市英語教育ステップアッププラン」に基づいて、市内の小・中学校で計画的に授業内容の充実を図る必要があります。 ・本市が目指す英語教育を「急速にグローバル化する社会において、自らの考えや意見、情報を積極的に発信し、他者と主体性を持って英語でコミュニケーションができる力を育成する」とし、小・中学校の円滑な接続を図るため、子どもの言語活動の充実を目指した英語教育を推進していく必要があります。</p>	<p>⑦ 教員の英語力、指導力の向上や、英語を用いたコミュニケーション活動の充実を図るとともに、「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」の作成・実践・検証に取り組み、新学習指導要領に基づき、新しい英語教育を進めます。</p>	<p>⑦ 【取組】 ・同一中学校区内の小・中学校の連携を重視し、小・中学校の円滑な接続と連携を図れるようにします。 ・小学校5年生から中学校3年生までの系統性を考慮した「草津版CAN-DOリスト」を評価基準とし、具体的な授業モデルとして「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」を作成し、連続性をもった教育を実施します。 ・3名のALTが全小・中学校へ巡回し、英語力の向上に向けた実践的な取組を推進します。 ・英語専科教育を県費で配置している学校については、JTEの配置と重ならないように調整を図ります。 (事業費) ・JTE配置費 4,209千円 ・ALT配置費 14,553千円</p> <p>【成果目標】 ・中学校卒業時に、CEFRレベルA1の生徒 60%以上 (令和2年度56.0%) ・英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒 80%以上 (令和2年度76.8%)</p>	<p>⑦ 【取組実績】 ・各中学校区で公開授業・授業研究会を行ったり、英語教育推進委員会で小中学校間の滑らかな接続と連携を図れるように協議を行いました。 ・英語教育代表推進委員が「草津市版CAN-DOリスト」を基に「草津型CAN-DOプラン(草津市小中一貫英語カリキュラム)」を作成し、小学校3実践、中学校3実践で授業検証を行いました。 ・3名のALTが全小中学校への巡回を行う中で、草津型イメージ教育の推進を図る等、英語力の向上に向けた取組を進めました。 (事業費) ・JTE配置費 4,228千円 ・ALT配置費 12,186千円</p> <p>【成果目標実績】 ・中学校卒業時に、CEFRレベルA1の生徒 59.5% ・英語(外国語活動)が好きと回答した児童生徒 76.9%</p>
<p>8 <不登校の子どもの居場所の確保と社会的自立の支援> 市内小中学校では、不登校児童生徒が増加傾向にあることから、ひきこもり防止や社会自立のための居場所をつくる必要があります。 また、不登校児童生徒の増加とともに、フリースクール等の民間施設を利用する児童生徒が増えていることから、経済的な理由で通えないということがないよう、学ぶ場を保障することが必要です。</p>	<p>⑧ 居場所や学びの場を必要としている児童生徒が、社会的自立をめざした支援を受けられるよう、補助金制度を創設します。</p>	<p>⑧ 【取組】 市が認定するフリースクール等の民間施設を利用する場合に、利用料等に対する支援を行い、不登校の子どもの居場所を確保し、社会的自立を促すよう支援するとともに、保護者の経済的な負担の軽減を行います。 (事業費) 不登校支援フリースクール利用助成費 1,920千円</p> <p>【成果目標】 補助金交付要綱を制定し、各小中学校等への制度の説明・周知を行います。</p>	<p>主 ⑧ 【取組実績】 草津市フリースクール利用児童生徒支援補助金交付要綱を制定し、フリースクールに通う児童生徒の保護者に対する助成を行いました。 また、制度開始前には、校長会にて制度の説明、周知を行うとともに、事業者に向けた説明会を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 市ホームページ、広報等で周知するとともに、民間施設に通う児童生徒には、学校から直接チラシを配布してもらうよう連携した結果、8施設の認定と、14名の補助金申請がありました。</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>9</p> <p><学校等の施設・設備の整備> ・小中学校施設は建築後相当の年数が経過しており老朽化が著しい状態です。また、グラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、未改修の学校が多く、老朽対策工事を進める必要があります。 ・学校施設の構造体に係る耐震化は完了していますが、構造体以外の天井や窓、備品等(非構造部材)の耐震化が完了しておらず、これらの耐震対策を進める必要があります。</p>	<p>9</p> <p>・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設等の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・地震に対する学校施設の安全性を確保するため、小中学校校舎の非構造部材について耐震工事を進めます。</p>	<p>【取組】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行います。 <令和3年度> (事業費)13,112千円 ・志津南小学校大規模改修2期工事修正設計業務(626千円) ・新堂中学校体育館トイレ改修工事修正設計業務(447千円) ・松原中学校トイレ改修工事実施設計業務(4,207千円) ・笠縫東小学校グラウンド改修工事実施設計業務(7,832千円) <令和2年度予算明許繰越> (事業費)524,986千円 ⑨ ・松原中学校体育館大規模改造工事(312,862千円) ・松原中学校体育館大規模改造工事監理業務(7,072千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事(26,898千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事監理業務(2,149千円) ・老上中学校トイレ改修工事(89,790千円) ・老上中学校トイレ改修工事監理業務(4,386千円) ・老上小学校グラウンド改修工事(78,298千円) ・老上小学校グラウンド改修工事監理業務(3,531千円)</p> <p>【成果目標】 各工事、実施設計の完了</p> <p>【取組】 小学校の非構造部材の耐震対策工事を進めます。 <令和2年度予算明許繰越> (事業費)22,588千円 ⑩ ・山田小学校非構造部材改修1期工事(19,096千円) ・山田小学校非構造部材改修1期工事監理業務(3,492千円)</p> <p>【成果目標】 校舎の非構造部材の耐震化実施校率(累計)67.5% (令和2年度:65%)</p>	<p>主</p> <p>【取組実績】 建築後相当年数経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、バリアフリー対応の工事・設計を行いました。 <令和3年度> (事業費)7,966千円 ・志津南小学校大規模改修2期工事修正設計業務(196千円) ・新堂中学校体育館トイレ改修工事修正設計業務(418千円) ・松原中学校トイレ改修工事実施設計業務(3,735千円) ・笠縫東小学校グラウンド改修工事実施設計業務(3,617千円) <令和2年度予算明許繰越> (事業費)459,590千円 ⑨ ・松原中学校体育館大規模改造工事(278,195千円) ・松原中学校体育館大規模改造工事監理業務(3,630千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事(26,788千円) ・志津小学校体育館トイレ改修工事監理業務(1,738千円) ・老上中学校トイレ改修工事(76,967千円) ・老上中学校トイレ改修工事監理業務(1,980千円) ・老上小学校グラウンド改修工事(67,949千円) ・老上小学校グラウンド改修工事監理業務(2,343千円)</p> <p>【成果目標実績】 国の交付金の採択時期等の関係から、夏休みに実施可能な工事を実施しました。</p> <p>主</p> <p>【取組実績】 小学校の非構造部材の耐震対策工事を進めました。 <令和2年度予算明許繰越> (事業費)18,725千円 ⑩ ・山田小学校非構造部材改修1期工事(17,061千円) ・山田小学校非構造部材改修1期工事監理業務(1,664千円)</p> <p>【成果目標実績】 校舎の非構造部材の耐震化実施校率(累計)67.5% (令和2年度:65%)</p>
<p>10</p> <p><市民に役立つ図書館運営の充実> ・昨年度策定しました『草津市の図書館運営計画(2020-2024)後期運営計画』の計画期間2年目にあたります。 ・今後取り組むべき主な課題として、 ●地域の中の情報拠点として、まちづくり、地域づくり、すべての市民に役立つ図書館となるよう、すべての人がいきいき暮らせるための情報提供の充実を図る必要があります。 ●市内各地域の特徴(人口構造)にあわせた全域サービスを行う必要があります。 ●前期の主な成果事業を維持し、充実して図書館サービスを行う必要があります。 ・図書館は、地域住民の図書館利用の権利、知る権利・読む自由の保障や民主主義の実現にとって基礎的な施設であることを自覚し、改めて、地域住民への資料・情報提供を基礎としたサービスの展開を柱にその役割を果たすと共に、目まぐるしい社会環境の変化に対応しながら、「市民のための図書館」としてその機能の充実を図る必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症対策の一環として、「在宅時間の充実」のための蔵書の充実を図る必要があります。</p>	<p>10</p> <p>《図書館サービスの質を高める》 ・日々の生活に潤いを与え、心豊かな人づくりに役立つ図書館・・・A, B, C ・地域の情報拠点として、まちづくり、地域づくり、すべての市民に役立つ図書館・・・D, E ・未来を担う子どもの育成を推進し、子どもの成長に役立つ図書館・・・F, G ・草津の歴史文化を未来に伝える図書館・・・E</p> <p>⑩ 《図書館運営の充実を図る》 ・図書館資料の充実 ・図書館の環境整備 ・図書館職員の人材育成</p>	<p>11</p> <p>【取組】 A.市民の興味関心に応え、くらしの中での課題解決や主体的な学習を支援する情報提供やレファレンスサービスのレベルアップを図ります。 B.市民のライフスタイルや読書要求に対応した図書館サービスの構築に努めます。 C.多くの市民に図書館を利用していただくための広報活動の強化に努めます。 D.地域活動の場として、図書館活用の促進に努めます。 E.すべての市民がいきいき暮らせるために配慮が必要な人へのサービスの充実を図ります。 F.未来を担う子どもの育成を推進するため、年齢・対象別事業の充実を図ります。 G.市立図書館の持つ専門性や経験を活かした学校教育活動の支援を行います。 H.学校図書館充実のための支援 I.ファミリーマネジメント</p> <p>【成果目標】 アンケート実施による利用者満足度 75.6% (令和2年度 75.6%)</p>	<p>11</p> <p>【取組実績】 A.市民の興味関心に応え、くらしの中での課題解決や主体的な学習を支援する情報提供やレファレンスサービスのレベルアップを図りました。 B.市民のライフスタイルや読書要求に対応した図書館サービスの構築に努めました。 C.多くの市民に図書館を利用していただくための広報活動の強化に努めました。 D.地域活動の場として、図書館活用の促進に努めました。 E.すべての市民がいきいき暮らせるために配慮が必要な人へのサービスの充実を図りました。 F.未来を担う子どもの育成を推進するため、年齢・対象別事業の充実を図りました。 G.市立図書館の持つ専門性や経験を活かした学校教育活動の支援を行いました。 H.学校図書館充実のための支援に努めました。 I.ファミリーマネジメントに努めました。</p> <p>【成果目標実績】 アンケート実施による利用者満足度 78.3% (令和2年度 75.6%)</p>
<p>11</p> <p><市民の生涯スポーツ活動の支援> 「「する みる 支える 知る」"ALLくさつ"でつなぐ健幸スポーツのまち」を基本理念とした第2期草津市スポーツ推進計画(令和3年度～令和7年度)に基づき、さらなるスポーツの推進に取り組む必要があります。</p>	<p>11</p> <p>⑪ 誰もが気軽に参加し楽しめる、民間事業者主体のランニングイベント「健幸都市くさつランフェスティバル」への支援を通じ、官民連携による生涯スポーツの推進に取り組めます。</p>	<p>12</p> <p>【取組】 健幸都市くさつランフェスティバルの開催に向け支援を行います。 (事業費) くさつランフェスティバル開催費補助金 2,000千円</p> <p>【成果目標】 くさつランフェスティバルの開催(令和2年度は中止)</p>	<p>主</p> <p>【取組実績】 健幸都市くさつランフェスティバルの開催に向け準備を進められましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年度に延期されたため、準備にかかる費用の一部を補助しました。 (事業費) くさつランフェスティバル開催費補助金 666千円</p> <p>⑫</p> <p>【成果目標実績】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和4年度に延期となりました。</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和3年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>12 <第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の推進> コロナ禍により1年延期となりました令和7年(2025年)に滋賀県で開催予定の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会は、本市においても水泳、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、軟式野球など、多くの競技の開催を予定していることから、計画的かつ効率的な準備業務を進める必要があります。 また、コロナ禍以降の大規模大会として、今後の先例事例等を参考にし、適切な大会運営を検討していく必要があります。</p>	<p>12 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置し、関係機関・団体が連携して準備を進めることで、さらなるスポーツ健康づくりの推進や交流人口の増加による街の活性化につなげます。</p>	<p>13 【取組】 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置します。 (事業費) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会準備費 914千円 【成果目標】 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会設立総会の開催</p>	<p>主 【取組実績】 市内各界各層の組織の代表者等175名で構成する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会を設置しました。 (事業費) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会準備費 475千円 13 【成果目標実績】 令和3年10月29日に第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会草津市準備委員会の設立総会および第1回総会を開催しました。</p>
<p>13 <文化・芸術活動の推進> 国では、文化を観光やまちづくりなど各分野に活用しようと、平成29年6月に「文化芸術基本法」が施行され、平成30年3月6日に文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的推進を図るため、「文化芸術推進基本計画」(第1期)が閣議決定されました。 本市においても、平成29年7月1日に基本理念等を定めた草津市文化振興条例を施行するとともに、平成30年3月に草津市文化振興計画を策定し、草津らしい文化の創造と発展を目指すための基本方向等を定めました。 文化は、人と人を結び、豊かな人間性を育み、人が人間らしく生きるための糧となるものであり、地域で育まれる文化は、その土地に住む人々の心の拠り所にもなることから、コロナ禍の状況においても様々な機会を通じて市民が文化に触れる機会を提供する必要があります。</p>	<p>13 文化振興計画に基づいて、誰もが等しく文化に触れられる市民文化政策の推進と、個性ある文化の創造により都市の魅力を高める都市文化政策の推進を図り、「出会い」と「交流」に満ちた草津市の文化を創造し、発展させます。</p>	<p>14 【取組】 草津市文化振興計画に基づく文化振興プログラムを実施し、草津市における文化振興を特徴づけ、草津らしい文化の創造を促進します。 (事業費)文化振興プログラム推進費 4,712千円 ・草津市文化振興審議会開催 ・アートフェスタくさつ開催 ・草津シネマ塾開催 【成果目標】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 21.4% (令和2年度実績 21.2%)</p>	<p>14 【取組実績】 昨年度に引き続きコロナの影響で延期・中止を余儀なくされた事業がありましたが、文化振興計画に基づき、文化施策を計画的かつ総合的に進めました。草津市文化振興審議会に事業実施状況を報告し、意見をいただきました。 ・草津市文化振興審議会(4回 ※1回は書面評決) ・アートフェスタくさつ わくわく体験ひろば(延期後、コロナで中止)、星降る映画館(3/19 参加者135名) ・草津シネマ塾(延期後、コロナで中止) 【成果目標実績】 文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合 21.8%</p>
<p>14 <歴史文化に親しむ機会の創出> 草津の歴史文化の特色である草津宿や街道文化に対する関心を高め、ひとりでも多くの人にふるさとである草津に愛着を持ってもらえる取組が必要です。 そうしたなかで、これまでの見学や参加型の事業展開に加え、SNSをはじめとするさまざまな情報発信ツールによる、草津宿や街道文化の魅力発信の必要性が求められています。</p>	<p>14 草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣での展示や講座など施設内での取組とともに、両館のホームページやフェイスブック、ツイッター、また、啓発情報誌、メディアなども積極的に活用し、草津宿本陣をはじめとする草津宿や街道文化の魅力発信に取り組んでいきます。</p>	<p>15 【取組】 館のホームページやフェイスブック、ツイッターに草津宿本陣や草津宿街道交流館の事業内容や、所蔵する歴史資料などの紹介を掲載するとともに、えふえむ草津の番組や関係団体などの情報誌へ草津宿の魅力紹介などを行います。 【成果目標】 情報発信件数 年間400件以上(令和2年度 392件) [* 新型コロナウイルスについては、高齢者向けのワクチン接種がようやく開始されようとしている状況であり、上半期は、例年に比べて入館者数は減少すると見込まれます。その間においても、草津宿の歴史や街道文化に纏わる話題などを積極的に発信し、令和2年度並みの発信に努めてまいります。]</p>	<p>15 【取組実績】 館のホームページやフェイスブック、ツイッターに草津宿本陣や草津宿街道交流館の事業内容や、所蔵する歴史資料などの紹介をしたり、えふえむ草津の番組や関係団体などの情報誌へ掲載することで、草津宿の魅力の発信に努めました。 【成果目標実績】 情報発信件数 年間458件(令和2年度 392件)</p>
<p>15 <文化財の調査と保護の推進> 国の文化財保護の方針は、個別の文化財保護を目的としたものから、歴史資産の保存・活用に向けた取組へと移行しています。その中で、本市の歴史文化が抱える課題について、市民と行政が互いに協力し、地域に埋もれた歴史資産の掘り起しや保存・活用のための仕組み・体制づくりを進める必要があります。 一方、人口流入や少子高齢化などに起因する地域の人口構造の変化により、文化財の保存・継承に影響が出つつあります。</p>	<p>15 ・文化財の適切な管理・継承・整備・活用を目指し、本市の歴史文化の特徴を表す国指定史跡の整備を進め、歴史文化を活用する多様な機会の創出を図ります。 ・市民と行政が協力しながら文化財を保存・継承する意識を醸成するため、新旧の市民がともに歴史文化に親しみ大切さを理解するための学習機会を設けます。</p>	<p>16 【取組】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本計画に基づき、令和2年度に引き続き全体の整備計画図である基本設計の作成を行うと共に、仮設道路部分の実施設計等を行います。 ・史跡草津宿本陣保存活用計画に基づき、史跡整備に向け、耐震調査結果を反映しながら、史跡全体の整備内容や方針・スケジュール等を定める整備基本計画を策定します。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化の価値や魅力を広く市民等に伝えるため、文化財の保存・活用への基盤づくりに向けた啓発事業を実施します。 (事業費) ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および仮設道路部分の実施設計等の実施 10,012千円 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の作成 4,891千円 ・文化財普及啓発 861千円 【成果目標】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および仮設道路部分の実施設計の作成 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の策定 ・文化財の保存・活用啓発活動の件数 20件(令和2年度 15件)</p>	<p>主 【取組実績】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本計画に基づき、基本設計の作成を行うと共に、仮設道路部分の実施設計等を行いました。 ・史跡草津宿本陣保存活用計画に基づき、史跡全体の整備内容や方針、スケジュール等を定める整備基本計画を策定しました。 ・文化財保存活用地域計画に基づき、歴史文化の価値や魅力を広く市民等に伝えるため、文化財の保存・活用への基盤づくりに向けた啓発事業を実施しました。 (事業費) ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計の作成および仮設道路部分の実施設計等の実施 9,952千円 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の策定 4,704千円 ・文化財普及啓発 673千円 【成果目標実績】 ・史跡芦浦観音寺跡整備基本設計および仮設道路部分の実施設計の完了 ・史跡草津宿本陣整備基本計画の策定 ・文化財の保存・活用啓発活動の件数 17件</p>
<p>16 <学校における新型コロナウイルス感染症の対策> 新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、学校において感染拡大を抑制し、学校教育活動の円滑な運営と、教職員の負担軽減を図る必要があります。</p>	<p>16 学校における新型コロナウイルス感染症対策や教職員の研修支援等に向けた取組を行います。</p>	<p>17 【取組】 国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、保健衛生用品等や家庭における効果的な学習のための教材の購入を進め、学校における感染症対策や教職員の研修支援、児童生徒の学びの保障等に向けた取組を進めます。 (事業費) 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費 29,200千円 【成果目標】 ・保健衛生用品等の購入により、感染症対策のさらなる強化を図ります。 ・研修等の実施により、コロナ禍に対応するための教職員の資質向上を図ります。 18 【取組】 学校における新型コロナウイルス感染症の拡大の抑制に努め、児童生徒が安心してすごすことができるよう、学校衛生管理サポーターを配置します。 (事業費) 学校衛生管理サポーター配置費 10,745千円 【成果目標】 学校衛生管理サポーター 各校に1名ずつ配置(小中学校20校)(令和2年度 小中学校20校に配置)</p>	<p>主 【取組実績】 国の学校保健特別対策事業費補助金を活用し、保健衛生用品や感染症対策に必要な物品、さらにオンライン学習に必要な物品を購入する等、学びの保障等に向けた取組を進めました。また、国の第3次補正予算も活用し、感染症対策のさらなる強化を進めました。 17 (事業費) 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費 32,850千円 【成果目標実績】 保健衛生用品等の購入により、感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続することができました。 主 【取組実績】 学校における新型コロナウイルス感染症の拡大の抑制に努め、児童生徒が安心してすごすことができるよう、学校衛生管理サポーターを配置しました。 (事業費) 学校衛生管理サポーター配置費 16,366千円 【成果目標実績】 学校衛生管理サポーター 小中学校20校に1名ずつ配置 (令和2年度 小中学校20校に配置)</p>